

# 福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

株式会社グローバルキッズ  
グローバルキッズ戸塚吉田町保育園

平成29年11月27日

株式会社フィールズ

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 認証第6号

# 目次

## 評価結果総括

- 評価方法 ..... 1
- 総合評価 ..... 2
- 評価領域ごとの特記事項 ..... 5
  - 人権の尊重
  - 意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供サービス
  - サービスマネジメントシステムの確立
  - 地域との交流、連携
  - 運営上の透明性の確保と継続性
  - 職員の資質向上

## 分類別評価結果

- 利用者本人（子ども本人）の尊重 ..... 8
- サービスの実施内容 ..... 11
- 地域支援機能 ..... 15
- 開かれた運営 ..... 16
- 人材育成、援助技術の向上 ..... 17
- 経営管理 ..... 19

## 利用者本人調査

- 利用者本人調査結果 ..... 21

## 家族アンケート結果

- アンケートの概要 ..... 26
- アンケート結果 ..... 27

## 事業者コメント

- 事業者からのコメント ..... 32

## 評価結果総括

---

法人名 株式会社グローバルキッズ  
事業所名 グローバルキッズ戸塚吉田町保育園  
施設長名 戸田 雄介

### □ 評価方法

#### 自己評価方法

実施期間 平成 29 年 8 月 17 日～平成 29 年 9 月 13 日  
実施方法 全職員が合議して自己評価を実施し、施設としてまとめた。

#### 評価調査員による評価方法

実施日 平成 29 年 10 月 18 日、平成 29 年 10 月 25 日  
実施方法 評価調査員が訪問し、施設の見学、資料確認及びヒアリング等で実施した。

#### 利用者家族アンケート実施方法

実施期間 平成 29 年 8 月 21 日～平成 29 年 9 月 18 日  
実施方法 施設から利用者家族へ配布し、返送は直接家族より評価機関に郵送してもらった。

#### 利用者本人調査方法

実施日 平成 29 年 10 月 18 日、平成 29 年 10 月 25 日  
実施方法 訪問調査時に保育見学、食事や活動場면을観察して行った。

## □ 総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項）

### 〔施設の概要〕

グローバルキッズ戸塚吉田町保育園は戸塚駅から徒歩5分ほどの柏尾川を超えた住宅街にあります。6階建マンションの1階部分が保育園です。60坪ほどの園庭が設けられ、子どもたちが陽光のもとで駆け回っています。開設して4年目で定員は105名（乳児45名、幼児60名）です。看護師が配置され生後57日からの乳児を受け入れています。

法人の株式会社グローバルキッズは平成18年に設立され、首都圏を中心に100カ所ほどの保育園等を運営しています。子ども一人一人の思いを受け止め、丁寧で家庭的な保育の実践を大切にしています。

法人の保育理念「豊かに生きる力を育てる」を踏まえ、園の保育理念を「生きる力を仲間の中で」としています。「子どもが真ん中の保育園」を掲げ、子ども一人一人の欲求を十分満たして生きる土台を作り、子どもが自分たちで考えながら日々を創っていく保育を大切に考えています。

### 《優れている点》

#### 1. 子どもたちが中心になる活動や環境を創って支援しています

園では「子どもが真ん中」の保育園を目指し、保育士は日々の過ごし方を子どもたちと相談しながら創り上げていけるように努めています。子ども一人一人が主体的にやりたいことをしながら、園生活全般を自分たちで創っていくために、幼児クラスでは「子どもミーティング」を随時行っています。子どもは年度後半になると自分の思いを相手に伝えたり、相手の話をじっくり聞けるようになってきます。4・5歳児縦割りクラスの部屋の床にビニールテープで大きな円が描いて、子どもたちが椅子を並べて話がしやすいようにしています。

園は独自に「保育に対する思い」を示し明示しています。目指す子ども像として「自分で考えて行動出来る子ども」を挙げ、子どもたちが発想力や集中力を発揮して、主体的に遊びを創り出すことができるような環境づくりに努めています。1・2歳児の保育室では手作りの背の低いスノコ状の仕切りを床に組み立てて、いくつものコーナーを作り、遊びに集中できるようにしています。幼児のクラスでは簡単な屋台風木の家や、机を利用して遊びのコーナー作りをしています。子どもたちはブロックやままごと・パズル・製作・お絵かきなど自分のやりたいことを選び、自分の居場所を見つけて遊びます。

保育士は子どもたちのかかわりを見守りながら、遊びのコーナー作りにも工夫しています。園庭は子どもたちが自分で工夫して遊びを作り出せるようにと、固定遊具を置かず、砂場と土の小山が作られています。砂遊びをする子や小山に登って駆け下りる子、全速力で走り回っている子どもなど主体的に元気よく遊んでいます。

## 2. 育児担当保育を行い、一人一人を大事にした保育を実践しています

保育者は子どもたちの欲求を十分に満たせる環境を整え、その子らしく大きくなるように手助けしていくのが仕事との視点に立ち、育児担当保育を取り入れて一人一人を大事にした保育を実践しています。0歳児から2歳児クラスは、食事と排泄についての育児担当を決めています。

より家庭に近い環境を整えて保育士との密な関係を築くことで、保育園が子どもたちにとって「第二の家庭」となり、安心して過ごす中でその子らしい主体性が育つと考えています。食事やおやつの時間は各グループのテーブルごとに担当の保育士が配膳しながらメニューの説明をして、食事中の子どもたちを見守りながら話しかけています。子どもたちはいつも同じ保育士がそばにいて世話をしてくれるため、静かな声のトーンで話し食事に集中しています。排泄時は担当の保育士に寄り添い、手をつないでトイレに行く姿が見られます。遊びの時間は保育士全員が、クラス全体の子どもとの関係づくりを意識して保育しています。育児担当の保育士は食事と排泄以外の場面でも、担当する子どもにとっての「安全基地」になるように心がけています。

### 《努力・工夫している点》

#### 1. 園の保育について独自に冊子で紹介しています

保育内容について理解を得るために園独自のパンフレットとして冊子「グローバルキッズ戸塚吉田町保育園の保育」を作成し、職員はじめ保護者、来園者などに配付しています。

冊子には企業理念「子どもの未来のために」、会社の保育理念「豊かに生きる力を育てる」を踏まえての、園の保育理念「生きる力を仲間の中で」や目指す子ども像「自分で考えて行動できる子ども」「相手の気持ちがわかる子ども」を紹介しています。これらの理念を実現するために園で実践している保育内容について、「保育に対する思い」「保育内容について」「保育の特徴について」の項を設けてA4版6ページにわたって丁寧に説明しています。

## 《課題や改善することが期待される事項》

### 1. マニュアルの保管方法についての検討が期待されます

園作成マニュアルの保管方法について検討が期待されます。園では法人共通のマニュアルのほか、に様々な園独自のマニュアルを作成し全職員に配付し活用しています。

子ども同士のけんかへの対応、叱り方、職員の言葉遣いや服装、保護者に対する話し方などまとめた「保育最低基準」があります。「子どもへのNG用語、NG行動」「働くものとしての最低限のマナー」のほか、入園児の持ち物リストや苦情対応マニュアル、ボランティア受け入れマニュアル、看護師作成の保健衛生に関するもの等々あります。

これらのマニュアルはそれぞれが関係するファイルに保管されていますが、まとめてファイリングされたものは作られていません。園独自のマニュアルとして何があるのか、いつでも誰でもわかるようにし、活用しやすくする工夫が期待されます。

### 2. 地域へのサービス提供について、可能な範囲での拡大が期待されます

保育園の専門性を活かした地域へのサービス提供について、可能な範囲での拡大が期待されます。一時保育については毎月、10～15人の利用があり、クラスに入って園児と一緒に過ごしています。園は町内会に加入し夏まつりや秋まつり、餅つきに子どもたちと参加し、行事の際にはテントや紅白幕などの物品を貸していただくなど交流を図っています。また、町内会の役員会に出席して保育園としてできることを伝えています。マンション理事会の理事を引き受け、近隣住民には行事の際の事前の挨拶や保育園前の道路の清掃をするなどで交流をしながら、保育園への要望を把握できるように努めています。

しかし、園庭開放や育児相談については開園して4年目であることや園の構造上のこともあり未実施になっています。育児相談としては見学時に受けた相談に対応している範囲で、地域に向けての情報発信は実施していません。保育園は社会資源として、地域へのサービス提供について、可能な範囲での実施を検討することが期待されます。

## □ 評価領域ごとの特記事項

### 1. 人権の尊重

- ① 企業理念や法人の保育理念を踏まえて、「生きる力を仲間の中で」を園の保育理念としています。園の基本方針は、子どもの人権を尊重したものとなっています。目指す子ども像として「自分で考えて行動できる子ども」「相手の気持ちがわかる子ども」を掲げています。子ども一人一人の思いを受け止め、その発達をとらえ成長を見守り育む、丁寧で家庭的な保育の実践を目指しています。
- ② 保育内容を丁寧に紹介したパンフレットとして冊子「グローバルキッズ戸塚吉田町保育園の保育」を作成し、職員はじめ保護者、来園者等に配付するとともに、クラス編成、職員配置、室内の設定、一日の過ごし方、職員の対応など様々に工夫しています。
- ③ 保育課程は保育の基本方針を踏まえ、4・5歳児の縦割りクラスの保育実践など、保育目標を達成するものになっています。保育課程は子どもの発達過程など法人共通部分をもとに、主として園長が開設時に作成しました。園は「子どもが真ん中の保育園」を掲げ、保育士の言葉かけで子どもたちが行動する一斉保育をできるだけ避け、子どもが自分で考えて行動することや、コミュニケーション能力をはぐくむことを大切にしています。
- ④ 4・5歳児クラスは日々の生活や行事について「子どもミーティング」を行い、自分の思いを相手に伝えるとともに、話を聞いて受け入れるなど、相手の気持ちがわかる子どもをはぐくむ機会としています。日々の保育の中でも保育士は子どもたちと相談しながら保育を進めています。

### 2. 意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス

- ① 天気の良い日は散歩に出かけ、公園で遊びます。近隣には公園がたくさんあり、年齢別に行先の目標を決めています。下駄箱上の壁面にはお散歩マップを掲示して、保護者にも公園を紹介しています。4・5歳児の最終目標は舞岡公園で、1日1万歩を目指しています。子どもたちは散歩の行き帰りで地域の様子を学び、自然豊かな公園を楽しんでいます。園庭には砂場と土山があり、自由遊びの時間には、砂遊びや土山登りをする子、全速力で走り回る子どもたちの生き生きとした姿が見られます。
- ② 食育だよりと献立表を毎月保護者に配付し、毎日の献立は玄関に展示しています。離乳食については、毎月、保護者に未食チェックを依頼して、相談の上調整しています。保護者体験会で給食の試食を行っており、参加できなかった保護者には保護者の都合の良い日に試食の機会を作っています。食育だよりには季節の食材の話やレシピなどが掲載されていて、子どもたちに人気のあったメニューは玄関に配布用レシピを置いています。
- ③ 自主的な保護者組織はありませんが、保護者活動を支援する姿勢はできています。保護者有志の集まり、「おやじの会」がボランティアとして園庭の砂や土の入替えやスポーツフェスティバルに協力しています。保護者間のコミュニケーションや自主的な活動に園としての役割が期待されます。

### 3. サービスマネジメントシステムの確立

- ① 新入園児には必要に応じて、子どもの心理的な安心を得るためのタオルなどをロッカーに置き、不安な時に持たせるなどをして無理なく園生活に慣れるように配慮しています。乳児クラスでは2年前から育児担当保育を実施して、子どもが特定の大人との愛着関係を築き、園が第2の家庭となることを目指しています。クラスを担当の数に小グループ化して、食事や排泄については、主としてグループの担当が保育して家庭的な暮らしができるように工夫しています
- ② 4・5歳児については縦割りクラス制をとっており、常に一緒に過ごしています。延長保育の時間帯には時間に応じて、1・2歳児の合同、幼児の合同などで一緒に遊んでいます。また、玄関横の下駄箱の前の空間や廊下のソファなども異年齢児と一緒に過ごす場所になっています。園は6階建マンションの一階に位置していますが、60坪ほどの園庭が設置されており、子どもたちが自分で工夫して遊びを作り出せるようにと、固定遊具を置かず、山砂を敷き詰め中央には赤土で小山が作られています。園舎内は木を多く取り入れ温かみのある空間になっています。園舎の軒には頑丈な網が張られます。
- ③ 看護師は毎朝各クラスを回って、子ども一人一人の様子を観察し、前日からの申送り事項のある子どもの状態を確認しています。「保健年間計画」で、2ヶ月ごとの目標や留意点、観察項目、保健指導内容などを計画し、各期の反省・評価を行っています。保健指導は「鼻の日」や「目の愛護デー」に、子どもたちが鼻や目に興味を持つような話をしたり、「手洗いチェッカー」で洗っていない手の汚れを実感するなど年齢に合わせた内容で行っています。
- ④ 緊急連絡体制は職員や保護者に周知されており、災害時は「一斉メール配信システム」や「災害時伝言ダイヤル」を利用することになっています。職員は救急救命法の研修を受けており、園長・主任・看護師は消防署の上級救命講習を修了しています。消防署の協力を得て、火災通報装置を使った通報訓練を毎年行っています。

### 4. 地域との交流・連携

- ① 町内会に加入して子どもたちは夏まつりや秋まつり・餅つきに参加し、行事の際にはテントや紅白幕などの物品を貸していただくなど交流を図っています。また、町内会の役員会に出席して、保育園としてできることを伝えています。マンション理事会の理事を受け、近隣の住民には行事の際に事前に挨拶して、保育園前の道路の清掃するなどして交流をしながら保育園への要望を把握できるように努めています。
- ② 園のスポーツフェスティバル（運動会）は近隣の小学校の校庭を借りて実施し、町内会・近隣の保育園など招待しています。昨年からはボランティアグループ「手話の会」による遊びの会に聴覚に不自由な方を招待して、手話・絵本・ゲームなど一緒に楽しんでいます。年長児は小学校を訪問して1年生との交流し、近隣の中学校・高等学校からは福祉体験の受け入れをしています。地域へのサービス提供については、一時保育を実施中です。一時保育は毎月、10～15人の利用があり、クラスに入って園児と一緒に過ごしています。毎年200名以上の見学者があり、その際に子どもの食事や排泄などについて相談され、必要に応じて関係機関の紹介をしています。
- ③ 4・5歳児は図書館に出かけて絵本や紙芝居を借りています。戸塚区役所屋上の庭園に遊びに行き、戸塚区主催の歯磨き指導などのイベントに参加しています。近隣の系列保育園の子どもたちが遊びに来て園庭で一緒に遊び、公園で待ち合わせて遊ぶこともあります。散歩の際には行きかう方々と積極的に挨拶を交わしています。



## 5. 運営上の透明性の確保と継続性

- ① 法人共通のパンフレットに加えて、園の保育内容について詳しく紹介した冊子を作り、パンフレットとして活用しています。法人ホームページからリンクして園の内容が写真入りで詳細に掲載されています。戸塚区や私立園長会のホームページにも簡潔に紹介されています。子育て情報誌に紹介され、地域コミュニティセンターと併設している保育園としてテレビの取材に応じたこともあります。
- ② 毎年、保育指針に基づく職員による自己評価を100項目に絞り実施しています。結果を集計したものを報告書として保護者に配付しています。昨年度の評価結果によって引き続き継続して伸ばしていく部分として「子どもたちとの信頼関係を築き子ども一人一人の人格を尊重しての保育」「一人一人の環境や能力や成長の差を把握して、保護者とともに見守る」「保護者や地域との連携」が挙げられています。改善点としては「職員全体での普通救命講習の受講」「アレルギーに関する知識を高める」「園の保育方針など、職員間で更に周知してわかりやすく説明していく」となっています。改善点についての具体的な取り組みが課題となっています。
- ③ 園には保護者の自主的な組織による「保護者会」はありませんが、年2回開催される「運営委員会」が保護者との継続的な意見交換の機会になっています。運営委員会は乳児クラス、幼児クラスの保護者代表と外部委員、法人職員、園長・主任が出席しています。各クラスの様子や行事、今後の予定などを報告し、保護者より意見や要望を聴いています。今年度第1回運営委員会ではエプロン紛失があったことや子どもが全体で「いただきます」をしていないことへの疑問、網戸の修理の必要性、昨年度は感染症にかかる子どもが少なかったと感じるなど、詳細について率直な意見交換がされています。

## 6. 職員の資質向上の促進

- ① 法人作成の「コンプライアンスハンドブック」を全職員に配付して意識向上に活用しています。冊子には企業理念をはじめ、行動規範・内部通報制度・保育施設の運営管理等を掲載しています。法人内での事故例や区からの不適切事例が報じられた場合は、回覧で情報共有するとともに、内容によっては園長が職員に速やかに伝達しています。
- ② 保育内容については冊子「グローバルキッズ戸塚吉田町保育園の保育」を作成し、パンフレットとして職員をはじめ保護者、来園者などに配付しています。冊子は園の保育理念、目指す子ども像や展開している保育内容についてA4版6ページにわたって、丁寧に説明しています。職員全体ミーティングの際に冊子をもとに園長が丁寧に説明、確認しています。
- ③ 主任のほかに各クラスにリーダーを置き、毎月リーダーミーティング行って職員の育成を図っています。主任は毎朝、各クラスを回って子どもや職員の状況を把握しています。毎月の勤務表は職員の希望をもとに主任が作成し、各職員が心身共に健康な状態で業務に当たれるように配慮しています。また、リーダー育成研修に参加してスーパーバイザーとしての力をつけています。日本でトップクラスといわれているいくつかの保育園の見学に、職員の半数ほどが参加して園運営の参考にしています。また、遊びやアートについては夜間、外部講師による研修を実施して保育が豊かなものになるように努めています。

## 分類別評価結果（および理由）

※ ひょう太マークは各項目において下記の水準をあらわしています。また、各項目ごとにひょう太の数の理由のコメントがあります

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

### I 利用者本人の尊重

#### I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成



- ① 企業理念「子ども達の未来のために」法人の保育理念「豊かに生きる力を育てる」を踏まえて「生きる力を仲間の中で」を園の保育理念としています。目指す子ども像として「自分で考えて行動できる子ども」「相手の気持ちがわかる子ども」を掲げています。子ども一人一人の思いを受け止め、その発達をとらえ成長を見守り育む、丁寧で家庭的な保育の実践を目指しています。これらの基本方針は全て子どもの人権を尊重したものとなっています。
- ② 保育内容を丁寧に紹介したパンフレットとして冊子「グローバルキッズ戸塚吉田町保育園保育」を作成し、職員はじめ保護者、見学者等に配付するとともに、クラス編成、職員配置、室内の設定、一日の過ごし方、職員の対応など様々に工夫しています。
- ③ 保育課程は保育の基本方針を踏まえ、4・5歳児の縦割りクラスの保育実践など、保育目標を達成するものになっています。保育課程は子どもの発達過程など法人共通部分をもとに、主として園長が開設時に作成しました。職員間での検討や保護者への説明はこれからの課題となっています。
- ④ 園は「子どもが真ん中の保育園」を掲げ、保育士の言葉かけで子どもたちが行動する一斉保育をできるだけ避け、子どもが自分で考えて行動することや、コミュニケーション能力をはぐくむことを大切にしています。4・5歳児クラスは日々の生活や行事について「子どもミーティング」を行い、自分の思いを相手にぶつけるとともに、話を聞いて受け入れるなど、相手の気持ちがわかる子どもをはぐくむ機会としています。日々の保育の中でも保育士は子どもたちと相談しながら保育を進めています。

#### I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- ① 園長または主任が入園前に保護者と子どもとの面接を実施して、子どもや家庭の状況を把握しています。児童票や入園までの生活状況、食べたことのある食品を記載した表などの家庭からの提出書類、面接時の子どもの様子から子どもの状況を把握して、指導計画に活かしています。新入園児の状況は職員ミーティングなどで情報共有しています。
- ② 新入園児には必要に応じて、子どもの心理的な安心を得るためのタオルなどをロッカーに置き、不安な時に持たせるなどをして無理なく園生活に慣れるように配慮しています。乳児クラスでは2年前から育児担当保育を導入して、子どもが特定の大人との愛着関係を築き、園が第2の家庭となることを目指しています。クラスを担任の数に小グループ化して、食事や排泄については、主としてグループの担当保育士が保育して家庭的な暮らしができるように工夫しています。
- ③ 乳児については法人共通の複写式の連絡帳を使用し、家庭と園とで詳細な情報を交換して子ども

一人一人の生活リズムに合わせられるように努めています。幼児は希望者や連絡帳が必要な子どもについてそれぞれのノートで情報を伝えています。在園児への配慮として、可能な限り、前担任の一人が持ち上がり子どもが安心できるように配慮しています。

- ④ 保育課程を基に年間指導計画、月間指導計画、週案兼日案を作成しています。各種計画はクラスミーティングで話し合い、担任が順番に作成しています。0歳児の年間指導計画1期(4月～6月)保育者の自己評価欄には「担当のグループを月齢別に分けたことにより、特に食事の面では発達に合わせた手掴み食べなどもしやすくなった」ことが記載されており、育児担当保育の効果が出ていることがうかがわれます。行事の計画には前年度の保護者アンケートでの意見を取り入れ、砂ぼこりへの対応など細やかな配慮をしています。

### I-3 快適な施設環境の確保



- ① 園は6階建マンションの一階に位置していますが、60坪ほどの園庭が設置されており、子どもたちが自分で工夫して遊びを作り出せるようにと、固定遊具を置かず、山砂を敷き詰め中央には赤土で小山を作っています。園舎内は木材が多く使われて温かみのある空間になっています。園舎の軒には頑丈な網が張られて階上からの落下物による危険を防いでいます。
- ② 1・2歳児クラスは転倒しても怪我になりにくいコルク素材の床材を使用し、床暖房になっています。幼児クラスや廊下などもクッション性の高い床材を使用しています。エアコンは冬26度、夏28度設定を基本にしていますが、クラスごとに温度調整ができるようになっています。月に一回、プレミアムクリーンデーを設けて、普段は目が届きにくい場所なども全職員で清掃しています。
- ③ 0歳児室には沐浴設備が整い、使用する都度、清潔にしています。園内にシャワー室が設けられており、汗をかいた時や体が汚れたときに使用しています。園庭にも温水シャワーが設置され夏のプール遊びに使用しています。
- ④ 乳児は育児担当保育をとっており、食事、排泄は担当保育士ごとに小グループで保育しています。0歳児は3グループで保育し、1歳児クラスは食事と寝る場所の空間を別にして、4グループで行動しています。2歳は18名を3グループに分けており、部屋の片面を柵で区切り、テーブルを置いて3家族が暮らしているように工夫しています。乳児クラスでは高さの低いスノコ状の仕切りでコーナーをいくつも作って玩具や絵本、教材などを置き、子どもたちが遊びこめるように工夫しています。
- ⑤ 4・5歳児については縦割りクラス制をとっており、常に一緒に過ごしています。延長保育の時間帯には時間に応じて、1・2歳児の合同、幼児の合同などで一緒に遊んでいます。また、玄関横の下駄箱の前の空間や廊下のソファなども異年齢児と一緒に過ごす場所になっています。

### I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- ① 3歳未満児については個別指導計画を作成し、幼児についても特別な課題がある場合は作成しています。随時、行われているクラスミーティングで一人一人の発達状況について意見を出し合い目標を立てています。個別指導計画には現在の子どもの姿、月の目標、保育者の援助・配慮・準備、反省・評価欄が設けられおり、簡潔にわかりやすく記載され子どもの成長の様子が見て取れます。
- ② 乳児は育児担当保育を展開していますが、計画類はクラス担任が順番に作成しています。記録に

は担当保育者との確かな愛着が形成されつつあることや、子どものペースに合わせて保育を進めている様子が記載されていました。離乳食の進め方や排泄の進め方など、保護者と連携を取り、同意を得ながら指導計画を作成しています。

- ③ 入園時の子どもや家庭の状況は法人共通書類「児童票」「入園までの生活状況」「入園児健康診断」「食品調査票」などで詳しく把握しています。入園後については0歳児は毎月、1・2歳児は隔月、幼児は3か月ごとに発達経過記録を作成しています。発達経過記録は健康・生活、人間関係、言葉、遊び（表現・運動）の詳細についてのチェック表と、子どもの姿・保育者の配慮欄からなっており、子どもの発達状況とともに全体像がわかるものになっています。
- ④ 記録類は事務室で保管し、全職員が必要時に閲覧できるようになっています。進級時は可能な限り、前担任の一人が持ち上げられるように配慮しながら、クラスリーダー間で口頭での引継ぎをしています。保育所児童保育要録は5歳児担任が作成して入学先の学校へ郵送し、特別な配慮が必要な子どもについては、学校に出向いて話をすることもあります。

### I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ① 特に配慮を要する子どもについてはクラスミーティングや職員ミーティングで定期的な話し合いを行い、情報を共有しています。共有する情報は記録し必要な時に確認できるようファイリングされています。
- ② 障がい児についてはそれぞれの特性に配慮した個別指導計画を作成し、必要に応じて関係機関から情報や助言が得られる体制をとっています。全職員が障がい児と障害のない子どもとのかかわりに配慮できるよう、研修や話し合いをしています。
- ③ 虐待の疑いがある場合は保育士が主任・園長に報告し、今後の方針を検討します。毎日の子どもの言動や着替え時の全身の状態に注意を払い、必要に応じて関係機関に相談や連絡をしています。主任と園長は、毎朝各クラスを回り子どもの様子を確認しています。家庭支援の必要な保護者を把握することで虐待の予防に配慮しています。
- ④ 食物アレルギーのある子どもにはかかりつけ医の指示に従った除去食を提供しています。定期的に保護者と連絡を取り、誤食事故を防ぐため専用トレイや食器、個別テーブル、名札を使用して配膳しています。
- ⑤ 外国籍などの文化の異なる子どもや保護者に対しては、担任以外の職員も交え、丁寧に意思疎通を図ることにしています。文化や生活習慣の違いを尊重し、他の子どもたちが理解できるように配慮しています。

### I-6 苦情解決体制



- ① 要望・苦情の受付担当者は園長、相談苦情解決責任者は設置法人の保育事業部で、2名の第三者委員の連絡先と共に、重要事項説明書に明記し玄関に掲示しています。行事後の保護者アンケートや、送迎時の保護者との会話から意見や要望を把握するように努めています。玄関に意見箱を設置し、外部の相談苦情窓口として戸塚区福祉健康センターこども家庭支援課の連絡先を重要事項説明書に明記しています。
- ② 要望や苦情の内容および解決策は職員ミーティングで周知し検討しています。過去の要望や苦情については記録に残し解決に活かしています。園単独での解決が難しい場合は第三者委員や外部の関係機関と連携を図っていく体制を整えています。

## Ⅱ サービスの実施内容

### Ⅱ-1 保育内容【遊び】



- ① 各クラスには年齢や発達にふさわしいおもちゃを、子どもが自由に選べるように配置しています。自由遊びの時間にはコーナーを作り、ごっこ遊びやブロック・絵本・パズルなど、それぞれの子どもが好きな遊びをしています。画用紙とクレヨンを置いたテーブルを用意し、廃材で作ったおもちゃも利用しています。0歳児と1歳児の保育室は床暖房になっています。
- ② 0歳児の保育室は畳スペースの周りにマットと低い台を置いて、子どもたちが保育士に見守られながら自由に動き回っています。1・2歳児の保育室では手作りのスノコやシートを置いてコーナーを作り、幼児クラスでは机を利用して集中して遊んでいます。
- ③ 天気の良い日は散歩に出かけ公園で遊びます。近隣には公園がたくさんあり、年齢別に行先の目標を決めています。4・5歳児の最終目標は舞岡公園で1日1万歩を目指しています。子どもたちは散歩の行き帰りで地域の様子を学び、自然豊かな公園を楽しんでいます。下駄箱上の壁面には散歩マップを掲示して保護者にも公園を紹介しています。園庭には砂場と土山があり、砂遊びや土山登りをする子、全速力で走り回る子どもたちの生き生きとした姿が見られます。
- ④ 保育室から園庭に出るデッキでは、散歩で捕まえたザリガニやカメなどを飼育しています。保育園で飼いたいとクワガタやオタマジャクシを持ってくる子もいて、みんなで楽しみながら世話をしています。また、園庭のプランターでクラス別にミニトマト、ナス、キュウリなどを栽培しています。保育士は飼育や栽培で得られた体験を日々の保育活動に活かす工夫をしています。
- ⑤ 毎月、乳児と幼児それぞれで「あそびの会」を行い、歌や遊びを通して子ども同士がふれあいを感じ、「人間っていいな」、「仲間っていいな」と感じられるように配慮しています。「あそびの会」の後はお誕生月の子をみんなでお祝いします。4・5歳児クラスでは園生活について「子どもミーティング」で話し合い、友だちの意見を聴き、自分の意見を伝えることができるようになります。スポーツフェスティバル（運動会）では日々の遊びを活かした種目を親子で楽しめるように工夫し、ソーラン節などの表現活動も取り入れています。
- ⑥ 4・5歳児は縦割り保育を行っています。年上の子に憧れて、年下の子にやさしく接しながら成長しています。朝夕の時間は合同保育を実施しており、保育士は異年齢の子ども同士が関わりを持てるように配慮し、けんか等については危険のないように見守りながら子ども同士で解決できるように支援しています。

### Ⅱ-1 保育内容【生活】



- ① 法人が作成した献立をもとに園で食材を発注し調理しています。季節感のある献立や盛付に配慮し、おやつも混ぜご飯のおにぎりや蒸しパンなどを手作りしています。栄養士は毎月各クラスの保育士と意見交換を行い、調理を工夫しています。年間食育計画を作成し、野菜の種まきや栽培、とうもろこしの皮むき、夏野菜クイズなど、年齢に合わせた食育活動を行っています。
- ② 食器は陶器製で、子どもの成長に合ったものを使用しています。箸は2歳児後半から使用します。保育士は食べようとする意欲を大切にして、雰囲気作りに配慮しています。育児担当保育を行っている0歳児から2歳児のクラスでは、テーブル毎に担当の職員が付き、家庭的な関りで子どもたちが落ち着いて食事ができるように支援しています。



- ③ 食育だよりと献立表を毎月保護者に配付し毎日の献立は玄関に展示しています。離乳食については、毎月、保護者に未食チェックを依頼して、相談の上調整しています。保護者体験会で給食の試食を行っており、参加できなかった保護者には保護者の都合の良い日に試食の機会を作っています。食育だよりには季節の食材の話やレシピなどが掲載されていて、子どもたちに人気のあったメニューは玄関に配布用レシピを置いています。
- ④ 午睡は、ロールカーテンを下ろし、静かにオルゴールの音楽を流し、子どもたちが心地よい眠りにつけるように配慮しています。乳幼児突然死症候群（SIDS）の対策として、呼吸チェックを行っています。0～1歳児は5分ごと、2歳児以上は10分ごとに呼吸チェックを行い、チェック表に記録しています。眠くない子には静かに過ごさせるなど柔軟に対応しています。
- ⑤ 子ども一人一人の排泄のリズムをとらえ、個人差を考慮して対応しています。家庭でのトイレトレーニングの状況に合わせた対応を取っており、送迎時や連絡帳で排泄状況の情報交換を行い、保護者と連携しています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理【健康管理】



- ① 健康に関するマニュアルに沿って一人一人の健康状態を把握し、健康観察記録をつけています。子どもの既往症や体質、予防接種状況などを把握し、日々の変化については連絡帳の記載や送迎時の会話で保護者と伝達し合っています。個人の健康管理に関する記録は、必要な時に職員が確認できるように保管されています。
- ② 看護師は毎朝各クラスを回って、子ども一人一人の様子を観察し、前日からの申し送り事項のある子どもの状態を確認しています。「保健年間計画」で2ヶ月ごとの目標や留意点、観察項目、保健指導内容などを計画し、各期の反省・評価を行っています。保健指導は「鼻の日」や「目の愛護デー」に子どもたちが鼻や目に興味を持つような話をして、「手洗いチェッカー」で洗っていない手の汚れを実感するなど、年齢に合わせた内容で行っています。
- ③ 年2回の健康診断、年1回の歯科検診を行っています。健診の結果は保護者に通知し、「健康状態記録」に記録しています。毎月「ほけんだより」を配付し、病気予防のポイントや注意事項などを掲載しています。2歳児から食後の歯みがきを行っており、看護師が歯の模型を使って指導しています。
- ④ 感染症の発症や高熱・嘔吐・下痢の症状が出た場合、玄関のボードに病名・症状・人数をクラス別に記載して、すみやかに保護者に通知しています。地域の感染症の流行状況については、区役所からの連絡のほか、近隣の保育園や小学校からの情報、看護師会からの情報などを参考としています。感染症に関するマニュアルは各クラスに配置され、職員が必要な時に見られるようになっています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理【衛生管理】



- ① 衛生管理に関するマニュアルや看護師が作成した資料で衛生管理が行われています。「掃除のマニュアル」には毎日の清掃の細かい手順が決められており、毎日クリーンチェック表をつけています。月に1回、「プレミアムクリーンデー」を設定し、普段行えない場所や外回りについて、全職員で分担を決めて清掃を行っています。
- ② 手洗後はペーパータオルを使用しています。子どもたちは、使い終わった口拭きタオルとエプロンを、自分で決められた収納場所にしまい持ち帰ります。子どもが手を触れる手すりやドアノブは毎朝拭いています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理【安全管理】



- ① 月ごとに火災・地震・水害などを想定した避難訓練を行い、年に1回、避難場所で保護者への引渡し訓練を実施しています。近隣の小学校の消防訓練に園児も参加し、消防車の見学やけむり体験をしています。保育室の家具は固定してあり高い所には物を置かないようにしています。
- ② 緊急連絡体制は職員や保護者に周知されており、災害時は「一斉メール配信システム」や「災害時伝言ダイヤル」を利用することになっています。職員は救急救命法の研修を受けており、園長・主任・看護師は消防署の上級救命講習を修了しています。消防署の協力を得て、火災通報装置を使った通報訓練を毎年行っています。
- ③ 子どもの怪我は軽症であっても保護者に状況を報告しています。事故やヒヤリハットの事例は記録して職員ミーティングで報告し、原因究明や再発防止策を検討しています。看護師が作成した「事故対応マニュアル」を活用して、事故の際に速やかに対応できるようにしています。
- ④ 保護者は予め登録したスイカやパスモで送迎時に玄関を解錠します。他の人が迎えに来た時は、保護者に連絡し身分証明書を提示してもらうことになっています。毎年、警察署と連携して不審者侵入対策の訓練を行っています。防災メール、区役所からの連絡、園長会のネットワークで不審者情報を得ることができます。

## II-3 人権の尊重



- ① 職員は子どもの人格を尊重する姿勢を持って、発言や気持ちを受け入れるように配慮しています。職員ミーティングなどで全職員が相互に検証し、命令口調や否定口調ではなく穏やかに話しかけ、子どもの呼びかけにきちんと対応しているか確認しています。園長が気になった言葉掛けについてはその場で確認しています。
- ② 職員と1対1で話す必要がある時は子どものプライバシーを守り、テラスや廊下などを利用して落ち着いて話せるようにしています。友達や職員の視線を気にせず一人で過ごしたい時は、保育室内の机や棚の位置を工夫して居心地の良いスペースを確保します。
- ③ 個人情報が含まれる書類は事務室の施錠できるキャビネットで保管し園長が管理しています。守秘義務の意義や目的、個人情報の取扱いを全職員に周知しています。子どもの個人情報の取扱いについては入園時に保護者に説明したうえで、承諾書ももらっています。
- ④ 順番やグループ分けなどに性別による区別は行わず、性差への先入観を与えないように配慮しています。子どもの呼び方は入園時に保護者に確認しています。職員は、無意識に性差による固定観念で保育をしていないかを、ミーティング等で確認し合っています。

## II-4 保護者との交流・連携



- ① 重要事項説明書に保育理念、保育目標、保育方針を明記しています。保護者に配付した冊子「戸塚吉田町保育園の保育」では、理念、保育内容、保育の特徴を詳しく説明しています。保護者会や行事などの機会に保育方針が理解されるように説明し保護者の意見を聴いています。
- ② 送迎時に子どもの様子を確認し保護者と情報交換しています。0・1・2歳児は園作成の複写式の連絡帳で毎日の家庭での様子、園での様子を記録しています。3歳児以上は市販のノートを使用して、必要に応じて連絡しています。3歳児以上のクラスの入り口に毎日の散歩や遊びの内容を掲示して、保護者に子どもの園生活の情報を提供しています。延長保育利用保護者への伝達事項は、クラスごとに毎日作成している健康観察記録の伝達事項欄に記入して職員間で引継ぎ、伝達

漏れが起こらないようにしています。

- ③ 年度初めに年間行事予定表を配付しています。「保育者体験会」では、保護者が半日保育者になり、各クラスで子どもたちと遊び、ランチを食べて、園生活を体験して保育内容を確認してもらっています。体験会の期間中に都合がつかない保護者には、希望により随時対応しています。
- ④ 園主催の保護者会を年2回行っています。クラス別に保育方針を説明し、子どもたちの様子を報告しています。個人面談は保護者の希望があった時に随時行っています。保育者体験会の日に個人面談を希望する保護者が多い状況です。特に配慮を有する子どもについては定期的に面談を行っています。保護者からの相談に適切に対応するために、職員間で相談し合い、主任や園長の助言を受ける体制ができています。相談の内容は記録して職員ミーティングで共有しています。
- ⑤ 保護者の意向により自主的な保護者組織はありませんが、保護者の活動を支援する姿勢はできています。保護者有志の集まり、「おやじの会」がボランティアとして園庭の砂や土の入替えやスポーツフェスティバルに協力しています。保護者間のコミュニケーションや自主的な活動に園としての役割が期待されます。



### Ⅲ 地域支援機能

#### Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供



- ① 町内会に加入しており、夏まつりや秋まつり、餅つきに子どもたちと参加しています。園行事の際には、テントや紅白幕などの物品を貸していただくなど交流を図っています。また、町内会の役員会に出席して、保育園としてできることを伝えています。ビルのマンション理事会の理事を受け、近隣の住民には行事の際に事前に挨拶し、日々、保育園前道路の清掃をするなどして近隣住民との交流をはかり、保育園への要望を把握できるように努めています。
- ② 地域への保育園の専門性を生かしたサービス提供については、一時保育の実施以外は検討中です。一時保育については毎月、10～15人の利用があり、クラスに入って園児と一緒に過ごしています。園庭開放や育児講習などは園の構造上のこともあり未実施です。

#### Ⅲ-2 保育園の専門性を活かした相談機能



- ① 毎年、200名以上の見学者があり、その際に子どもの食事や排泄などについて育児相談を受けて、必要に応じて対応し関係機関の紹介をすることもあります。しかし相談日時を設けて定期的に行っておらず今後の検討課題になっています。開園して4年目であることや、保育園の構造上、相談場所の確保が困難であり実施方法などを検討しています。
- ② 相談の担当者は園長や主任ですが、相談があった場合に備えて、病院や関係機関のリストをそろえて、直ぐに活用できるようになっています。また、障害や虐待についての関係機関とは、在園児の支援を通して、常に連携できる体制となっていますが、定期的な打ち合わせなどは行っていません。

## IV 開かれた運営

### IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ



- ① 園のスポーツフェスティバル（運動会）は近隣の小学校の校庭を借りて実施し、町内会・近隣の保育園などを招待しています。昨年からはボランティアグループ「手話の会」による遊びの会に聴覚に不自由な方を招待して、手話・絵本・ゲームなど一緒に楽しんでいます。年長児は小学校へ訪問し1年生との交流し、近隣の中学校・高等学校からは福祉体験学生の受け入れをしています。
- ② 4・5歳児は図書館に出かけて絵本や紙芝居を借りています。戸塚区役所屋上の庭園に遊びに行き、戸塚区主催の歯磨き指導などのイベントに参加しています。近隣の系列保育園の子どもたちが遊びに来て園庭で一緒に遊んだり、公園で待ち合わせて遊ぶこともあります。散歩の際には行きかう方々と積極的に挨拶を交わしています。

### IV-2 サービス内容等に関する情報提供



- ① 法人共通のパンフレットに加えて、園の保育内容について詳しく紹介した冊子を作り、パンフレットとして活用しています。法人のホームページからリンクして園の内容が写真入りで詳細に掲載されています。区や私立園長会のホームページにも簡潔に紹介されています。子育て情報誌に紹介され、地域コミュニティセンターと併設している保育園としてテレビの取材に応じたこともあります。
- ② 見学者への対応は園長または主任が担当しています。年間200人以上が来園しています。見学時間は9時半、10時半、15時半、16時半の4回を基本として設定していますが、可能な限り希望を尊重しています。見学時にはパンフレットをもとに、園の保育に対する考え方「子どもたち同士での話し合いを大切にしていること」、「育児担当保育をとっていること」「4・5歳児は縦割り」などを説明しています。

### IV-3 ボランティア・実習の受け入れ



- ① ボランティア受け入れマニュアルがあり、担当者は園長です。ボランティアとして手話の会や園のおやじの会、クリスマス会時に町内会の方にサンタクロース役をやっていただくなど積極的に受け入れています。戸塚区役所や戸塚区社会福祉協議会と連携をとって受け入れ表明しています。受け入れにあたっては園の基本的な考え方や守秘義務のことなど丁寧に説明しています。受け入れ時の記録整備については課題となっています。
- ② 実習生受け入れ担当は園長です。マニュアルがあり、実習希望があれば積極的に受け入れています。昨年は保育士養成校から2名、他に近隣の中学校、高等学校から福祉体験学生を受け入れています。受け入れ時には園の方針など説明し、守秘義務についての誓約書を作成しています。実習生の目的に応じての効果的なプログラムの提供については課題となっています。

## V 人材育成・援助技術の向上

### V-1 職員の人材育成



- ① 園の職員補充については法人本部が担当しています。採用時の新人研修についても法人が担当し、法人の理念や方針について伝えています。園の理念や方針は園長が伝えています。研修や人事考課、キャリアパス制度が設けられており、職員の階層に応じて目標設定シートを作成して自己評価をして次年度につなげています。園長は前期、後期の2回職員と面談を行い、職員の思いを聞きアドバイスをしています。
- ② 法人が実施する研修や横浜市、戸塚区などから紹介されてくる様々な外部研修に積極的に参加しています。今年度は前半期で延べ33人が参加しています。また、遊びやアートについては夜間、外部講師による研修を実施し、近隣の保育園にも呼び掛けて一緒に参加しています。日本でトップレベルと紹介されている他園への見学に職員の半数が参加し刺激を受けています。法人では海外研修制度を設けており、昨年度2名が参加し環境への意識を高めています。
- ③ 内部研修は看護師による嘔吐処理などの実技研修のほか、研修係が担当する研修を全員参加で随時行っています。6月にはクラスごとに考案した「年齢に応じた手作りおもちゃ」研修を実施し、参加できなかった職員には資料や報告書を回覧し、確認のチェックをしています。
- ④ 本園の非常勤職員は全体の約30%で、職員補助の役割を担っています。非常勤職員の指導は主任とクラスリーダーが担当しています。非常勤職員はクラスミーティングに参加するほか、毎月パート会議が実施されて率直な交換の場となっています。会議では職員ミーティングやリーダーミーティングの内容を伝えるとともに、日々のクラス運営、職員の姿勢、気になる子どもについてなど報告や気づき・提案をする場となっています。

### V-2 職員の技術の向上



- ① 毎年、保育指針に基づく職員による自己評価を100項目に絞り実施しています。結果を集計したものを報告書として保護者に配付しています。昨年度の評価結果によって引き続き継続して伸ばしていく部分として「子どもたちとの信頼関係を築き子ども一人一人の人格を尊重しての保育」「一人一人の環境や能力や成長の差を把握して、保護者とともに見守る」「保護者や地域との連携」が挙げられています。改善点としては「職員全体での普通救命講習の受講」「アレルギーに関する知識を高める」「園の保育方針など、職員間で更に周知してわかりやすく説明していく」となっています。改善点についての具体的な取り組みが課題となっています。
- ② 年間、月間、週案などの指導計画や行事計画、保育日誌には反省や課題・評価・改善などの欄が設けられており、日々、振り返りながら保育を展開できる仕組みになっています。クラスミーティングやその他各種会議で計画を検討、実行、振り返りを行い、次月につなげています。しかし、これらの評価は計画で意図したねらいと関連付けての評価や反省にまでは至っていません。
- ③ 保育の質の向上を目指して乳児については2年前から育児担当保育を導入して、小グループでの保育を展開しています。一つのグループが「小さな家族」のように過ごしています。子どもとの愛着関係を十分に築き、子どもにとっての安全基地ができ、園が家庭の延長となることを目指しています。導入に際しては話し合いを何回も重ねて実施していますが、実施して2年余りの中で、日々、保育内容の向上に努めています。

## V-3 職員のモチベーションの維持



- ① 職員の経験や能力に応じての役割が明文化されているキャリアパス制度が職種ごとに設けられており、園長は人事考課の面談時やミーティング時に各職員の満足度や要望などを把握しています。子どもとの信頼関係の構築を何よりも大切にする保育、子ども中心の保育を実践する中で、職員は子どもたちから慕われ、頼りにされることが充実感、モチベーションの維持になっています。また、各クラスの運営に関しては最終的には園長が責任を持つことを前提に、クラスリーダーと担任とで責任をもって運営できるようになっていることもモチベーションの維持につながっています。

## VI 経営管理

### VI-1 経営における社会的責任



- ① 運営法人は企業理念に「子ども達の未来のために」を掲げ、首都圏を中心 100 ヶ所ほど保育関係の事業所を展開しています。ホームページや重要事項説明書には法人や本園の保育理念、保育方針とともに法人概要と運営情報などが記載されています。
- ② 法人では冊子「コンプライアンスハンドブック」を作成し、全職員に配付してコンプライアンス意識向上に活用しています。新入職員には採用時に丁寧に説明しています。冊子には企業理念をはじめ、行動規範・内部通報制度・保育施設の運営管理等が掲載されています。法人内での事故例や戸塚区からの不適切事例が報じられた場合は、回覧で情報共有するとともに、内容によっては園長が口頭で職員に伝達する場合があります。
- ③ ゴミの分別や牛乳パックでの積み木、段ボール箱での仕切り、使わなくなった鍋やフライパンをままごとに使うなど様々に工夫して保育に活用しています。小学校と連携してペットボトルのキャップとプリンターの空インクを保護者の協力を得て家庭から回収しています。春から秋にかけてはプランターで各種の野菜や花を栽培し、食育や緑化運動の一環としています。環境への取り組みについては法人作成の書類や園保育課程、他の計画類にも明文化されてはいませんので課題となっています。

### VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



- ① 保育内容については冊子「グローバルキッズ戸塚吉田町保育園の保育」を作成し、パンフレットとして職員をはじめ保護者、来園者などに配付しています。冊子は園の保育理念「生きる力を仲間の中で」目指す子ども像「自分で考えて行動できる子ども」「相手の気持ちがわかる子ども」や展開している保育内容についてA4版6ページにわたって、丁寧に説明しています。職員全体ミーティングの際に冊子をもとに園長が丁寧に説明、確認しています。
- ② 園には保護者の自主的な組織による「保護者会」はありませんが、年2回開催される「運営委員会」が保護者との意見交換の機会になっています。運営委員会は乳児クラス、幼児クラスの保護者代表と外部委員、法人職員、園長・主任が出席しています。各クラスの様子や行事、今後の予定などを報告し、保護者より意見や要望を聴いています。今年度第1回運営委員会ではエプロンの紛失があったことや子どもが全体で「いただきます」をしていないことへの疑問、網戸の修理の必要性、昨年度は感染症にかかる子どもが少なかったと感じるなど、詳細について率直な意見交換がされています。
- ③ 主任のほかに各クラスにリーダーを置き、毎月リーダーミーティングを行って職員の育成を図っています。今年度は保育について課題が生じたときなどに、園の核となる職員で構成するミーティングを行い、中核としての意識を高めています。主任は毎朝、各クラスを回って子どもや職員の状況を把握しています。毎月の勤務表は職員の希望をもとに主任が作成し、各職員が心身共に健康な状態で業務にあたれるように気を配っています。また、リーダー育成研修に参加してスーパーバイザーとしての力をつけています。

## VI-3 効率的な運営



- ① 法人理念や基本方針実現のための情報収集については法人が行っています。園運営に必要な様々な情報も法人から伝達されてきています。園長は私立保育園園長会に出席し、外部環境の変化などの情報を得ています。2年前に法人園長会の中で中期計画を作成し、単年度の事業計画書を作成しています。伝達事項については全体ミーティングなどで職員に伝えています。
- ② 今年度は日本でトップクラスといわれているいくつかの保育園の見学に、職員の半数ほどが参加して園運営の参考にしています。また、遊びやアートについては夜間、外部講師による研修を実施して保育が豊かなものになるように努めています。

## 利用者本人調査

### 調査対象

園全体の在籍数：

0歳児クラス：9名	1歳児クラス：18名	2歳児クラス：18名
3歳児クラス：20名	4・5歳児クラス：20名	

### 調査概要

#### 《0歳児クラス》

(朝のおやつ)

9時過ぎに朝のおやつ準備が始まり、おもちゃを片付けることになりました。チェーンのおもちゃで遊んでいた子は、「ないないしようね」と言われると缶の中にしまい、絵本を見ていた子は本棚に戻しに行きました。保育士に抱っこされている子もいます。「おうちにいきましょう」と言われ食事スペースの3つのテーブルに移動します。それぞれのテーブルで、育児担当の保育士に名前を呼ばれた子は、「はい」と手を挙げてエプロンをつけてもらいます。違う子が呼ばれた時に「はい」と手を挙げた子に、保育士が「〇〇ちゃんの代わりに返事してくれたんだね」と笑顔で応じていました。

月齢の小さい子はテーブル付きのベビーチェアに座っています。保育士に抱かれている子もいます。お手拭きタオルで手を拭いてもらってから、お茶と牛乳を美味しそうに飲んでいました。

(午後遊び)

畳スペースの横にマットや低い段差のある台が置かれ、0歳児が自由に動き回れるようになっています。保育士が見守る中、子どもたちは自由にマット上をハイハイしたり、絵本を持って歩いていました。立ち上がってプラスチックが入った小さいペットボトルを振り、音が出るのを楽しんでいる子もいました。

保育士が「キュウリができた」と歌いながら、横になっている子の身体をやさしく動かし始めると、歌を聞いた周りの子どもたちが集まってきました。子どもたちはみんな保育士のところで仰向けになって、順番に手遊び歌でのスキンシップを楽しんでいました。

## 《1 歳児クラス》

(午前遊び)

訪問日は雨が降っていたため室内遊びになりました。1 歳児の保育室には木製の手作りの大きな囲いが置いてあります。屋根はありませんが子どもたちは「おうち」と呼んでいて、おもちゃを持って中に入って遊んだり、部屋の中を見回しています。床にはスノコで作った背の低いパーティションを置いて、コーナーをいくつか作り、子どもたちが好きな遊びに集中できるようになっています。

遊びによってパーティションは移動します。コーナーに座り込んでブロックに夢中になっている子や、窓側の壁際に置いてあるソファに座って一人で絵本を見ている子、段ボール箱に印刷された線路でミニ電車を走らせている子、歩きながらおもちゃのフライパンを叩いて音を楽しんでいる子など、どの子も自分のやりたい遊びを十分楽しんでいるようでした。

保育士は「おうち」の中で一緒に遊んだり、コーナーの近くで、思い思いに遊んでいる姿を見守っていました。9 時 40 分になるとおもちゃの片付けをして集合しました。準備体操の後、CDをかけて体操が始まりました。保育士に甘えて抱っこしてもらっている子もいましたが、子どもたちはCDに合わせて、保育士のかけ声に合わせてジャンプして、元気に動き回っていました。

(食事)

「おててぱっちゃんいただきます」と言って昼食の時間が始まりました。献立はスパゲッティ・スープ・野菜のごま和えです。最初に配膳されたスパゲッティを子どもたちはフォークで上手にすくって食べています。スパゲッティをフォークにくるくると巻こうとしている子もいました。テーブル毎に育児担当の職員が付き、配膳や食事の介助をしています。スープと野菜も配膳され、黙々と食べる子や、デザートヨーグルトが気になって周りを見ている子など様々です。担当の保育士に「せんせいやって」と頼んだり、「せんせいたべて」と話している子もいました。

保育士は「ゴマの匂いがするね」「食べるの上手だね」とやさしく話しかけながら、子どもたちが食事に集中できるように支援していました。早く食べ終わった子は、自分のエプロンを所定の箱に入れてから午睡の準備をします。窓側の午睡スペースには布団が並んでいて、準備が終わった子は自分の布団に横になっていました。食べるのが遅い子は担当の保育士に援助されて落ち着いて食べていました。

## 《2 歳児クラス》

(午前遊び)

朝のお茶と牛乳を飲んだ後は室内で自由遊びです。スノコで作った背の低い仕切りを利用してコーナーを作り、いろいろな遊びが始まっていました。ブロックで作った武器を腕にはめて友だちと戦いごっこをしている子、一人でブロックを床に並べて繋げることに一生懸命な子、おままごとやぬいぐるみ遊んでいる子など、各コーナーでいろいろな遊びが展開されていました。バンダナを頭に巻いて楽しんでいる子はバンダナを見せてくれました。

保育士は、動き回ったり静かに一人で遊んでいる子どもたちの様子を見ながら、声かけをしています。部屋の中は子どもたちの声でとても賑やかでしたが、一人遊びをしている子は集中していて気



にならない様子でした。

#### (食事)

保育士と子ども4人で、ランチ用ワゴンを運んできました。献立はマーボーうどん、スイートポテトサラダ、ヨーグルトです。子どもたちはエプロンをして席でおしゃべりをしています。食事は3つのテーブルに分かれて、保育担当の保育士がテーブルに付きます。子どもたちはお腹が空いていたようで、一生懸命食べ始めました。うどんをフォークで上手にすくって食べています。早く食べたいのか、フォークですくいながら反対の手でうどんをつかんでいる子もいました。

子どもたちは「スプーンがいい」「おかわりほしい」「あつまれして」などと、担当の保育士に話し静かに待っています。保育士は「待っててね」とやさしく話し、子どもたちの食事の支援をしています。デザートヨーグルトを食べ終わった子から午睡の支度をします。自分のパジャマ袋を出して着替えますが、保育士に「よごれてないよ」と言っている子がいました。保育士は「おひるねの時は着替えようね」とほほ笑んで話していました。食べるのが遅い子はヨーグルトの途中でウトウトしていましたが、保育士に支えられて目が覚めたようで最後まで食べられました。

### 《3歳児クラス》

#### (午前遊び)

クラスの中央には屋台のような木枠の中にままごと道具をセットしてある「木のおうち」と呼んでいる遊びのコーナーが置いてあります。壁面には子どもたちが作ったハロウィン用マント、ロッカーの上には紙コップと色画用紙のかぼちゃの手提げがたくさん飾られて楽しい雰囲気がいっぱいです。今日は雨、子どもたちは床に座ったり、テーブルでそれぞれに好きなことをして遊んでいます。小さなブロックを組み立てている子、お絵かきしている子、折り紙をちぎったり張り付けたりして黙々と時計を作っている子、机について数人で、牛乳パックの積み木を高速道路に見立て車を走らせている子など様々ですが、夢中であそんでいる様子がうかがわれます。ブロックを組み立てて掃除機を作り、廊下の掃除に出かける子もいます。子ども達は保育士におんぶしたり膝に乗ったり、寄りかかったり次々と甘えてそばに寄っています。

保育士が「長い針が6になったら、お片づけしていいですか」と子ども達に声をかけています。「6ってわかる？」と一人の子どもを抱いての実物時計のところに連れて行き、「6」を確認させています。壁面には画用紙で作った丸い大きな時計も2個掲示してありました。

#### (食事)

定員は20名ですが本日の出席18人、3人の保育士でした。4テーブルに5~6人ずつ座るようです。保育士が「ちょっと、先生のほうを見てください。今日のごはんはうどんです。自分の食べられる分だけ取ったらスープを入れます。」と説明をして始まりました。

献立はマーボーうどんと、スイートポテトサラダ、ヨーグルトです。3日前から子どもが自分たちでよそうことを始めたとのことで、保育士が見守ったり、少し手伝ったりする中で順番に並んで待っています。保育士が「自分で食べられるだけ入れてね」と注意を促しています。おぼつかない手つきでトングを掴み、うどんを自分のお椀に入れ、次にお玉じゃくしでうどんにスープをかけて席に戻り

ます。サラダもスプーンでお皿によそっています。子どもが「トロっとしている。泥んこみたいだね。美味しそうだね。」とうれしそうに保育士に話しかけています。箸やスプーンを自分で選んで持って行きますが、保育士が「下を向けて持っていてね」と危なくないように注意していました。

最後にお茶を自分で運んでお終いです。ヨーグルトは全部食べ終わってからのようです。早々と食べ始める子、女の子ばかり1テーブルに座って、みんなで「いただきます」をするグループ、こぼして訴える子、まだ遊びたいのか、配膳にも参加しないで見ているだけの子など様々です。保育士2人が食事の準備、1人が窓側に午睡用のコットを並べていました。途中でこぼしてしまう子、山盛りによそる子、座りたくない子などいる中、保育士は実に忍耐強く一人一人にやさしく対応しています。子どもたちは「最高にうまい！」とお替りを何回もし、元気いっぱい大声で話ながらの食事場面でした

#### 《4・5歳児縦割りクラス》

(午前遊び)

4, 5歳児は縦割りで4歳10名、5歳10名計20名のクラスが2つあります。同じ構造のクラスが2つ並んでいて中央は6枚のドアで仕切られて、開けて一部屋としても使えるようになっています。部屋の構造上、壁際にロッカーが並び、園庭への出入り口に小さなままとコーナー、反対側に粘土や鉛筆、紙、塗り絵などを置いてある棚があります。園庭への出入り口には衣装箱の中に亀が飼われています。

部屋の園庭側床に赤いビニールテープで大きな円が書かれています。この円は子どもミーティングの時に椅子を線に沿って並べ、話し合いをするためのものとのことでした。子どもたちはそれぞれ、テーブルについて自分の好きな遊びに集中しています。折り紙でバラや小鳥を折っている子ども、紙で手提げバックを作っている子ども、ままとコーナーでは男の子3人がお鍋やフライパンに鎖やボタンを具にして焼きそばを作り、一人は人形を抱いてあやしていました。部屋の隅に小さな低い長椅子があり、寝転んでいる子どももいます。調査員が入っていくと何人もの子どもが寄ってきて、「何しに来たの？」と話しかけてきます。

一人の子どもが「先生、“ふえ”ってどう書くの？」と保育士に聞くと、保育士はノートを持ってきて丁寧に教えていました。しばらくして数人の女の子が「お片づけでいいですか」と大きな声でクラス中に問いかけると、他の子どもたちが「はじめて下さい」とか「まだですよ」と口々に応えていました。子どもたちは保育士2人のところに次々とやってきて、背中に寄りかかったり、抱き付いたり友達のように、母親のように甘えている姿がいっぱいありました。

### (食事)

頭をハンカチのような布でくるんだお当番さんがテーブルのコップにお茶を継いでいます。テーブルに座っている子、傍らでみんなを見ている子ども、食事を器によそうために順番に並んでいる子ども、すでに食べている子どもそれぞれです。泣きだした子どものところに素早く保育士が寄っていき、話を聞いていました。

保育士の一人がスパゲッティを子どもが自分で盛り付けるのを少し手伝ったり、見守ったりしています。子どもたちはおしゃべりしながら賑やかに食べています。前掛けをしている子どもがスパゲッティを手で食べ始めると、保育士がフォークを差し出してフォークで食べるように促していました。子どもたちは次々とお替りして食欲旺盛、その合間に楽しそうにお互いに会話し、調査員にも、「何しに来たの」「おうちどこ？」など遠慮なく質問がとんできました。

スパゲッティを終わったところで、お当番がヨーグルトを配っていました。子どもたちはヨーグルトについているNOを確認しながら選んでいます。ロッカーの上には金木犀の花が一輪さりげなく飾ってありました。

### (おやつ)

今日のおやつはおにぎりです。テーブルの真ん中にご飯をいれたボールが置いてあり、子どもたちの前にはラップを敷いたお皿が置いてあります。子どもたちは自分でごはんをラップの中に入れ、ラップを丸めておにぎりを作っています。自分でおにぎりを作るのは無理なのか、一人の子どもの前には一口大にしたおにぎりを入れたお皿が置かれて保育士が食べるように勧めていました。

## 家族アンケート結果

### アンケートの概要

#### 1. 調査対象

利用者の全家族

#### 2. 調査方法

アンケートは評価機関で準備をして保育園から配布してもらいました。回答は家族から郵送にて直接に評価機関に送っていただきました。

#### 3. アンケート発送数等

発送数：	90 通	返送数：	40 通	回収率：	44%
クラス：	0歳児： 6 通	1歳児：	9 通	2歳児：	4 通
	3歳児： 8 通	4歳児：	7 通	5歳児：	5 通

#### 4. 全体をとおして

利用者家族へのアンケートを前年度にも実施したことなどで、回収率は44%に留まりました。

アンケートに回答した家族は「保育園を総合的に評価した満足度」において、「満足」が48%を占め、「どちらかといえば満足」も含めると95%が保育園に満足しております。

個々の項目においては、「満足」「どちらかといえば満足」を含めると9割を占めている項目が大半となっています。

特に、評価の高い項目では「子どもが戸外遊びを十分しているか」は「満足」が65%で「どちらかといえば満足」を含めると98%が満足しています。同様に98%が満足している項目も多くあります。

その一方で、「満足」の低かった項目は「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会」であり、「満足」は23%に留まっています。「不満」の回答も少なく、一部の項目で「不満」が3%となっています。また、「不満」に「どちらかといえば不満」も加えた状況では、「送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換」は23%となっています。

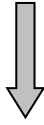
アンケートでの自由記入欄にも、意見や要望が寄せられています。「安心してあずけられ、先生方にも良くしていただいて満足しています。」「丁寧に対応していただき感謝しています。」などが複数寄せられています。また、保護者参加の行事について追加希望や伝達方法の要望などもあります。

□ アンケート結果

■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか

1 よく知っている	3 どちらともいえない	4 あまり知らない
2 まあ知っている		5 まったく知らない



1	2	3	4	5	無回答
15.0%	77.5%	2.5%	2.5%	0.0%	2.5%

付問1 【「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」とお答えの方】

あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。

1 賛同できる	3 どちらともいえない	4 あまり賛同できない
2 まあ賛同できる		5 賛同できない

1	2	3	4	5	無回答
56.8%	35.1%	8.1%	0.0%	0.0%	0.0%

■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	37.5%	42.5%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
その他:新設のため見学していない、見学しなかった						
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	37.5%	57.5%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%
その他:						
園の目標や方針についての説明には	42.5%	55.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
その他:						
お子さんの生育歴などを聞く対応には	45.0%	47.5%	2.5%	0.0%	2.5%	2.5%
その他:聞かれていない						
保育園での一日の過ごし方についての説明は	30.0%	65.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他:						
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については	40.0%	55.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他:						

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	47.5%	47.5%	2.5%	0.0%	2.5%	0.0%
	その他:あつたか覚えていない					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	30.0%	52.5%	15.0%	2.5%	0.0%	0.0%
	その他:					

問4 日常の保育内容について

「遊び」について	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	42.5%	45.0%	10.0%	2.5%	0.0%	0.0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	65.0%	32.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	45.0%	47.5%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	40.0%	57.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	42.5%	52.5%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	42.5%	47.5%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					

「生活」について	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	65.0%	30.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	55.0%	42.5%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%
	その他:					
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	47.5%	37.5%	10.0%	2.5%	2.5%	0.0%
	その他:わからない、まだわからない					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	52.5%	45.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	30.0%	40.0%	12.5%	0.0%	12.5%	5.0%
	その他:まだ時期ではないので不明、すでにはずれていた、園に任せきりで反省します					
お子さんの体調への気配りについては	52.5%	45.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	47.5%	40.0%	10.0%	0.0%	2.5%	0.0%
	その他:説明はしてもらえませんが同じことが何度も起こるので少し不安					

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
施設設備については	50.0%	37.5%	10.0%	2.5%	0.0%	0.0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	47.5%	45.0%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	30.0%	55.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	60.0%	35.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	22.5%	57.5%	15.0%	0.0%	2.5%	2.5%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	47.5%	47.5%	0.0%	2.5%	0.0%	2.5%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	47.5%	47.5%	2.5%	0.0%	0.0%	2.5%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	27.5%	47.5%	20.0%	2.5%	0.0%	2.5%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	30.0%	57.5%	10.0%	0.0%	0.0%	2.5%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	37.5%	50.0%	5.0%	0.0%	2.5%	5.0%
	その他:特にしていない					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	47.5%	42.5%	2.5%	0.0%	5.0%	2.5%
	その他:経験がない為不明					



問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	47.5%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%
その他:						
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	45.0%	50.0%	2.5%	0.0%	0.0%	2.5%
その他:						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	35.0%	50.0%	0.0%	0.0%	10.0%	5.0%
その他:わからない、様子を見ることがない						
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	47.5%	45.0%	2.5%	0.0%	2.5%	2.5%
その他:						
意見や要望への対応については	25.0%	65.0%	5.0%	0.0%	2.5%	2.5%
その他:特別にない						

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足しているか

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	47.5%	47.5%	2.5%	0.0%	2.5%

## 事業者コメント

事業者名：グローバルキッズ戸塚吉田町保育園

開園 4 年目にして初めての第三者評価受審となりました。会社の保育の理念「豊かに生きる力を育てる」園の保育の理念「生きる力を仲間の中で」に向かって保育が展開されているかを話し合う良い機会となりました。また、全職員で意見交換をすることで、日々の保育の反省点や園としての課題を見つけることが出来ました。

「子どもを真ん中に」した保育、「主体性を育てる」保育への共通理解やそのための環境整備、保育者のかかわり方など一つの方向にチームとして向かっている実感は出来たものの、地域へ開かれた保育園という所ではまだまだ課題があることがわかりました。園庭開放や子育て相談会を今後取り入れ、地域に根づいた保育園になるように努力していきます。

来年度より保育所保育指針が施行されますが、時代の流れに沿った保育を展開していく必要があると思います。そういった面では今回、第三者評価を受審することで新たな一步を踏み出す良い機会となりました。今回の受審結果を真摯に受け止めつつ、常に課題を見つけながらさらに保育の質にこだわり、保護者の方や地域の方と手を取り合い、「子どもが真ん中」「命が真ん中」の保育園になるように努力していきます。

最後に第三者評価受審に際し、ご協力いただいた株式会社フィールズ様、ご多忙の中アンケートにお答えいただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

グローバルキッズ戸塚吉田町保育園 園長 戸田雄介



株式会社フィールズ  
〒251-0024 藤沢市鵜沼橋1-2-7 湘南リハウスビル3F  
TEL : 0466-29-9430 FAX : 0466-29-2323